

H26.12.12.



2

伊藤 香織

ここフロリダではクリスマスモードが漂っています。日本と違って雪がめったに降らないので、今年は暖かいクリスマスを過ごすことになりました。

さて、今回はアメリカの祝日の一つ「Thanksgiving day (感謝祭)」の様子を紹介します。イングリッシュからの移住者がアメリカでの最初の収穫を祝ったことが始まりで、この日は家族全員が集まり、七面鳥の料理をはじめ豪華な夕食の時間を共に過

# 何げない毎日が大切



ホストファミリー（右端がパパとママ）と親戚一同との「Thanksgiving day」

こすというのが伝統になっているのです。私のホストファミリーは、毎年この日に家族、友人が集まりフットボールをするというので（この日は七面鳥を食べる）ことからターキーボールと呼ばれるそうです。私も気合を入れて行って来ました。この試合には本当に多くの人が参加しており、皆さんがとてもフレンドリーです。打ち解けあっていました。でも私にとっては、ほぼ初対面の方ばかり。しかも大人がほとんどだったので緊張して何を話したらいいのか困りましたが、日本から来たことを伝えると「私の娘が日本に...」「私は若いころ日本に行って...」と話が弾み、仲を深めることができました。

## 「Thanksgiving day」

相手が自分の国のことを知っていて好きでいてくれることがとてもうれしく感じ、もっと紹介したいと感じました。

夕食では、この日の伝統料理のマッシュポテトやパンアップパイなど多くの料理が並びました。メインディッシュである七面鳥の大きさに驚きつつ、とても楽しみました。

その半面、この日はほとんどの家庭で七面鳥が食べられます。ということからは、多くの七面鳥の命が奪われているということ、そのことが頭をよぎり何とも言えない気持ちになりました。

食事の前には全員でテーブルを囲み、一人ずつ感謝の言葉を言いました。私も簡単にでしたが家族や友人、すべてに感謝する気持ちを伝えました。新たな出会いをうれしく思い、また毎日何げない一つひとつのことが大切なのだ感じられた日になりました。

（湯梨浜町出身、アメリカ留学中）

（月一回掲載）